

オペラをひとかじり

高いと思っているオペラの敷居をひよい！とジャンプしてのそくと、そこには面白い世界が！
しかも、オペラの敷居はそんなに高くない。
まずはオペラをひとかじり！



池田 直樹 (バス・バリトン)

Chemin de Neige

(シュマン・ドゥ・ネイジュ)

高橋 由起 (フルート) & 平田 侑 (ピアノ)

2019.12.14. 土

13:30 開場 | 14:00 開演

ムーブ町屋 ムーブホール

入場料：一般 2,000 円
(ACC 友の会 1,500 円)

小・中学生 1,000 円
(ACC 友の会 500 円)

全席自由

◆ チケット取り扱い ◆

町屋文化センター(03-3802-7111)

ムーブ町屋(03-3819-7761)

※未就学児無料

座席を使用する場合は小・中学生入場扱いとなります。

※また未就学児一人に対し、大人一名の同伴をお願い申し上げます。

曲 目

G.パイゼット

『セヴィリアの理髪師』より

アリア “陰口はそよ風のように”

W.A.モーツァルト

『セヴィリアの理髪師』のロマンス

“私はランドール” による12の変奏曲 KV354

『フィガロの結婚』より

アリア “仇を討つのは愉快なものじゃ”

“もう飛ぶまいぞこの蝶々”

L.v.ベートーヴェン

『フィガロの結婚』より

“もし伯爵様が踊るなら” の主題による

12の変奏曲 WoO.40

G.ロッシーニ

『セヴィリアの理髪師』より

アリア “陰口はそよ風のように”

A.ディアベリ

『セヴィリアの理髪師』より

カヴァティーナ

ほか

主催： Chemin de Neige (concert.neige@gmail.com)

共催： (公財)荒川区芸術文化振興財団 荒川区

あらかわ文化イベント企画 応援プロジェクト2019支援事業

オペラをひとかじり



高いと思っているオペラの敷居をひょい！っと超えると、そこには面白い世界が！
まずはオペラをひとかじり！

オペラ界の大ベテラン・池田直樹が、みなさまをオペラの喜劇（オペラ・ブッフア）の世界にご案内します。オペラ・ブッフアの傑作は、なんとと言っても W.A. モーツァルトが作曲した『フィガロの結婚』！この作品を中心に、G. バイジェット、G. ロッシーニがそれぞれつくった『セヴィリアの理髪師』そして Chemin de Neige（シュマン・ドゥ・ネイジュ）による、劇中の有名なアリアなどを用いて、フルートとピアノの技巧を散りばめた器楽曲を交えてお届けします。

さあ、ひょい！っと敷居を超えましょう♪

池田 直樹（いけだ なおき）

東京芸術大学首席卒業、同大学院修了。

1980～81年、文化庁芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。

二期会オペラ劇場公演では、『フィガロの結婚』のフィガロ役を代表とする多くのモーツァルトの作品で存在を確かなものとし、『ジークフリート』のヴォータン役など数々のワーグナーの作品でも重厚な役で公演を成功に導いた。また『メリー・ウィドー』などのオペレッタの公演に於いては軽妙な演技で喝采を浴びるなど、多様な役柄を見事に演じ分け評価は高い。新国立劇場公演では『アラベッタ』『マノン・レスコー』『トスカ』『夕鶴』『沈黙』『マノン』『ドン・キホーテ』『ドン・ジョヴァンニ』『椿姫』『セヴィリアの理髪師』に出演している。独唱会も、1976年のシューベルトの『冬の旅』を最初に、同じくシューベルトの『美しき水車屋の娘』『白鳥の歌』、シューマンの『詩人の恋』等で回を重ねている。

また在日、地方の主要なオーケストラに招かれ、多くの宗教的作品や、ベートーヴェンの『第九交響曲』等の独唱を務めた。2019年3月には「池田直樹独唱会・50曲リクエストコンサート」で注目を集めた。この他、1992年にシアターコクーン製作シェイクスピア『夏の夜の夢』で精霊の王オーベロンを演じたのを最初に、俳優として演劇公演にも積極的に参加し、新国立劇場製作の『喪服の似合うエレクトラ』（朝日舞台芸術賞グランプリ受賞）に出演するなど活躍の場を広げている。二期会会員。

Chemin de Neige（シュマン・ドゥ・ネイジュ）

フルートとピアノのデュオユニット。

2012年のパリでの演奏会を皮切りに、日本とフランスで活動をしている。

「Chemin de Neige」とはフランス語で「雪の道」という意味。

2人の「Yuki」が日本とフランス両国での経験を生かし、多くの人と音楽を通してつながり、本格的かつ親しみやすいステージを展開していくことを活動目標としている。2人の進む道が音楽と光に満ちた希望の道であるように…という願いを込めて名付けられた。

2017年度「演奏家の船出 応援コンサート」グランプリ受賞。自主公演のほか、練馬区や墨田区、新宿区、栃木市などの事業でコンサートにも出演している。

ホームページ <https://www.chemin-de-neige.com>

高橋 由起（たかはし ゆき）

栃木県出身。

宇都宮大学教育学部音楽科在学中にピアノ専攻からフルート専攻へ転科。東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻音楽コース修了。2010年 パリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。

2012年 同音楽院コンサーティスト第一課程修了。コンクール・ナショナル・ド・テアトル（仏）室内楽部門2位。2013年 第7回横浜国際音楽コンクール管楽器部門第1位。2015年 エドガー・ヴァレーズ音楽院演奏家最高課程を第1位にて修了。

清水和高、Jean FERRANDIS、Michel MORAGUES、Julien BEAUDIMENT、Pierre ROUILLET の諸氏に師事。

演奏活動の傍ら、後進の指導をはじめ、子供向けの音楽ワークショップ等、教育活動にも力を入れている。足利短期大学 講師。



【ムーブ町屋へのアクセス】

東京都荒川区荒川7-50-9 センターまちや3F

- ・地下鉄千代田線・町屋駅 0番出口より 徒歩1分
- ・京成線・町屋駅より 徒歩1分
- ・都電町屋駅より 徒歩1分



平田 侑（ひらた ゆき）

東京都出身。

日本大学芸術学部、同大学院修了。在学中、派遣奨学生としてフランスへ留学し、研鑽を積む。

第11回長江杯国際音楽コンクール第2位（最高位）、Concours de Piano de Chatou "Cécile EDEL-LATOS"（仏）第1位受賞。

神野明、岡本愛子、藤原亜美、Jean-Marc LUISADA、海老彰子の諸氏に師事。

現在日本を拠点にソロでの活動の他、国内や国外におけるコンサートやコンクール、オーディションの伴奏や後進の指導、さらに留学先であったフランスにて、コンセルヴァトワールの年度末試験の伴奏やコンサートでの演奏活動をしている。

2018年より5年連続で、毎年異なるメーカーのピアノで演奏する「ピアノを巡るものがたり」と題したリサイタルプロジェクトを展開している。2020年は、5月に『プレイエル』のピアノで開催する。

ホームページ <https://www.yukiphy.com>